

I 施設概要

■ 泉地区地域活動センター（泉活動センター）

S51.4竣工（築48年）農村総合整備モデル事業国庫補助金
（処分制限期間R9.3.24）非耐震
人工芝屋内体育室、ナイター照明グラウンドあり
指定管理：泉地区自治振興会

■ 羽黒コミュニティセンター（羽黒コミセン）

S57.8竣工（築42年）過疎地総合センター建設事業補助金
（処分制限R5.3.31満了）新耐震
音響ステージ完備集会室 H16大規模改修（増築あり）
市直営：非常駐、貸館使用

II 事業の背景

1. 泉活動センターと羽黒コミセンの両施設は老朽化により施設機能の低下が著しい
2. 第3次行財政改革大綱・実施計画に機能集約がR7.3に追加される
3. 令和5年度に泉地区自治振興会等で構成される鶴岡市泉地区地域活動センター再整備検討委員会より「泉活動センターの早期建設に関する要望書」が提出される

III 事業の目的

老朽化した施設の効率的な整備を推進し、地域住民に対する利便性の向上と利用拡大を図る。

IV 状況

1. 今年度中に新泉地区地域活動センター整備基本構想を策定予定としていたが、他の事業と同様に泉地区地域活動センターについても見直すこととなった。
2. 今後の人口減少の見通しを踏まえ、投資事業の平準化や公共施設等の総量の適正化を図り、将来の市民負担を抑制するため投資事業について市全体で見直しを進めている。
3. 基本的なコミセン整備の考え方としては、近隣に利用可能な施設が存在している場合に既存施設を利活用して整備している。
4. 施設整備方針（案）については7月下旬目途に提示したい。

V 体育施設について

1. 新たな体育施設の整備や既存の体育室・グラウンドの継続は難しいと考える。
2. 廃止の方針が決定した際は、各団体の活動場所は市内の既存の利用可能な施設へと案内し、市全体での既存施設の有効的な活用を図る。
（羽黒中学校グラウンド、羽黒体育センター、羽黒体育館など）

VI 課題

1. 地元要望「泉活動センター早期建設の要望書」の内容と集約する泉活動センターの地域活動拠点機能の整理
2. 整備事業費や施設の規模の適正化
3. 整備基本方針の内容に関する地元住民等との合意形成
4. 泉活動センターに付属する施設（体育室・グラウンド）の調整

VII 今後の進め方

1. 鶴岡市泉地区地域活動センター再整備検討委員会や地元との合意形成を図りながら、供用開始を目指す。
2. 建設工事にあたっては、集約する機能を選定するなど整備内容を精査する。

